

### Ⅲ. 提出書類要領

# 水道工事請負に伴う提出書類

対象金額単位：万円 ※赤字は2部提出

書類名	対象請負金額	国庫補助事業	500以上	499～130	129～50	49以下	提出期日
工事着手届・工程表・下請人指導責任者配置届・各種免状又は経歴書（写し）を添付 ※各種技能講習修了証 給水装置工事主任技術者免状（該当工事のみ）		○	○	○	○		契約後 7日以内
現場代理人兼任届 ※他工事契約書（写し）を添付		兼任する場合					
下請契約時…施工体制台帳・施工体系図 ※元請け技術者の雇用関係確認書類を添付		○	○	○			契約後 速やかに
建設廃棄物処理委託契約書（写し） 工事発生土搬入計画届出書（写し）		○	○	○			
再生資源利用・促進計画書・集計表※		※1	※1	※1			
施工計画書（当初）		○	○				契約後 1ヶ月以内
CORINS(当初・変更・竣工)		○	○				登録後 速やかに
材料承認願・材料検査立会願		○	○	○			契約後 1ヶ月以内
道路使用許可書・道路工事届出書（写し） （警察署あて）（消防署あて）		○	○	○			現場着手前
段階確認書（継手チェックシート等） 工事打合せ簿・休日作業届		○	○	○	○		その都度
施工計画書（変更）・変更工程表		○	○				変更時 必要時のみ
履行届・完成写真 ※II工事写真撮影要領P4の着手前、完成写真を1部添付		○	○	○	○	○	履行時
出来形管理 ・完成図面（出来形図、竣工図、ワレット図、給水図、舗装傍面図など）※CD含む ・出来形管理図、材料受払簿（500万円以上）		○	○	○	○	○	履行時 完成図書 ファイル
品質管理 ・使用材料の受検証明書、試験成績書等 ・継手チェックシート※（500万円以上） ・水圧試験チャート		○	○	○	○		
写真管理 ・工事写真帳（工事写真撮影要領による）		○	○	○	○		
再生資源利用実施書・促進実施書（CD含む） ※国交省指定様式またはCOBRISによる。		○	○	○			
再資源化等完了報告書		○	○				
安全管理、日誌 ・KY、社内パトロール、安全訓練、新規入場者記録、防災協、建退共受払簿、工事日誌、使用機械点検記録、警備日報		提示	提示				履行時
建退共購入領収書(中退共加入者は中退共加入証明書と建退共証紙交付辞退届)		○	○				
産業廃棄物管理票（マニフェストE票原本）		提示	提示	提示			

※請負金額に応じて○の付いているものを提出すること。ただし監督員の求めに応じて追加、省略する。

「提示」は確認後に返却する。提出対象外でも法令、規則、約款等の定めにより作成すること

※継手チェックシートについて、本仕様書内に掲載されていないものについては、各協会HPに掲載されている最新版のチェックシートを用いて提出すること。

※1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画の作成については以下のとおりとする。

・再資源化利用計画（搬入する際に作成）

次の建設資材を搬入する工事について、以下の数量を満たす場合、作成するものとする。

- ① 土砂 …… 500 m<sup>3</sup> 以上
- ② 砕石 …… 500 m<sup>3</sup> 以上
- ③ 加熱アスファルト混合物 …… 200 t 以上

・再生資源促進計画（搬出する際に作成）

次の建設副産物が現場より発生、または搬出する工事について、以下の数量を満たす場合、作成するものとする。

- ① 建設発生土 …… 500 m<sup>3</sup> 以上
  - ②-1 コンクリート塊 (※)
  - ②-2 アスファルト・コンクリート塊 (※)
  - ②-3 建設発生材木 (※)
- } ②-1、②-2、②-3 の合計が 200t 以上

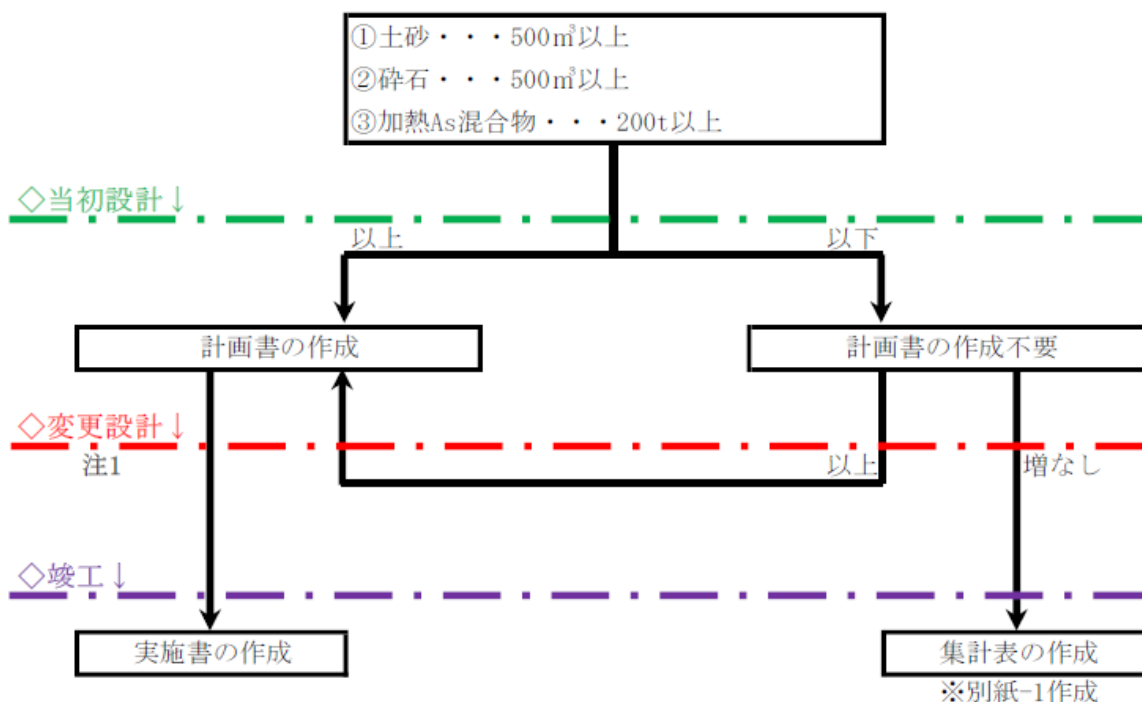
※変更設計後に規定量以上となった場合、各種計画書を作成すること。

※規定量を満たさない場合は、集計表（別紙-1）を作成すること。

「再生資源利用計画」及び「再生資源利用促進計画」の作成フロー図

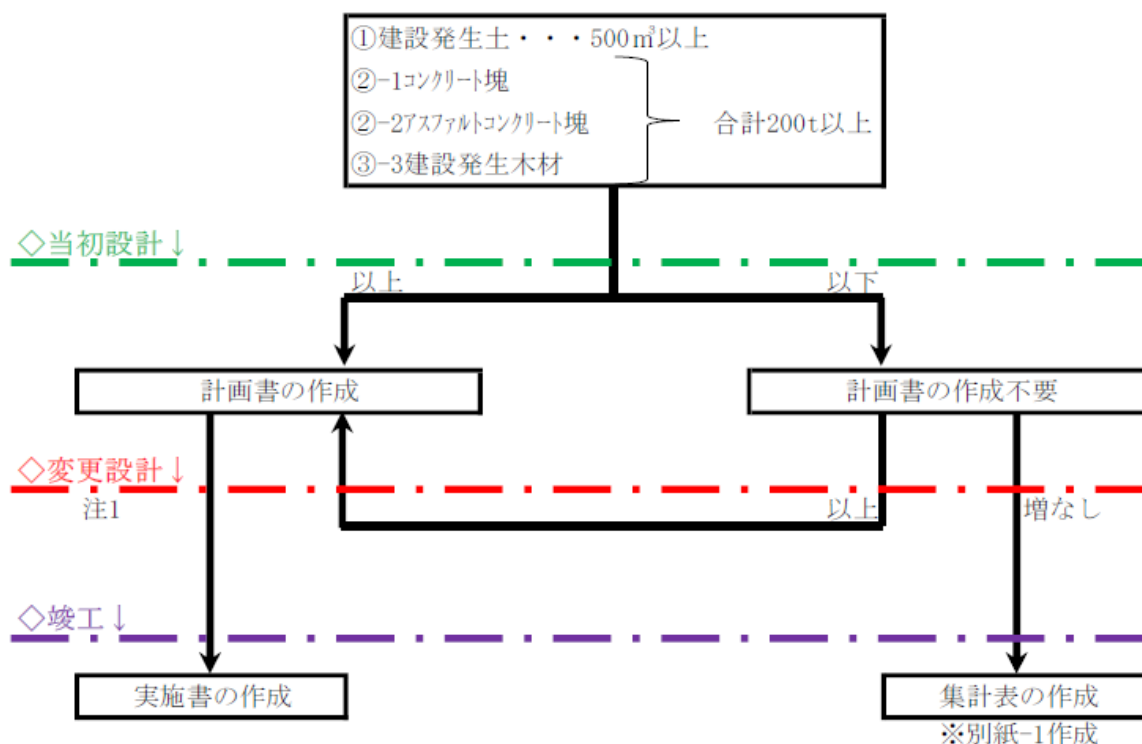
●フロー図

●再生資源利用計画（搬入する際に作成）



注1：変更設計後に規定量以上になった場合は、各計画書を作成する。

●再生資源利用促進計画（搬出する際に作成）



注1：変更設計後に規定量以上になった場合は、各計画書を作成する。

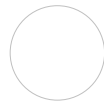
別紙-1

種別	細別		設計数量		実績数量	再生資源利用計画及び再生資源促進計画/作成有無
			当初	変更		
搬入	①	土砂				500 m <sup>3</sup> 以上
	②	碎石				500 m <sup>3</sup> 以上
	③	加熱アスファルト混合物				200 t 以上
搬出	①	建設発生土				500 m <sup>3</sup> 以上
	②-1	コンクリート塊				②-1, ②-2、②-3 の合計が 200 t 以上
	②-2	アスファルト・コンクリート塊				
	②-3	建設発生木材				

# 水圧試験結果表

試験日	年 月 日	現場代理人	品管理担当者
工事番号	第 号		
工事名			工事
場所	南魚沼市		地内

水圧試験チャート紙・測定事項

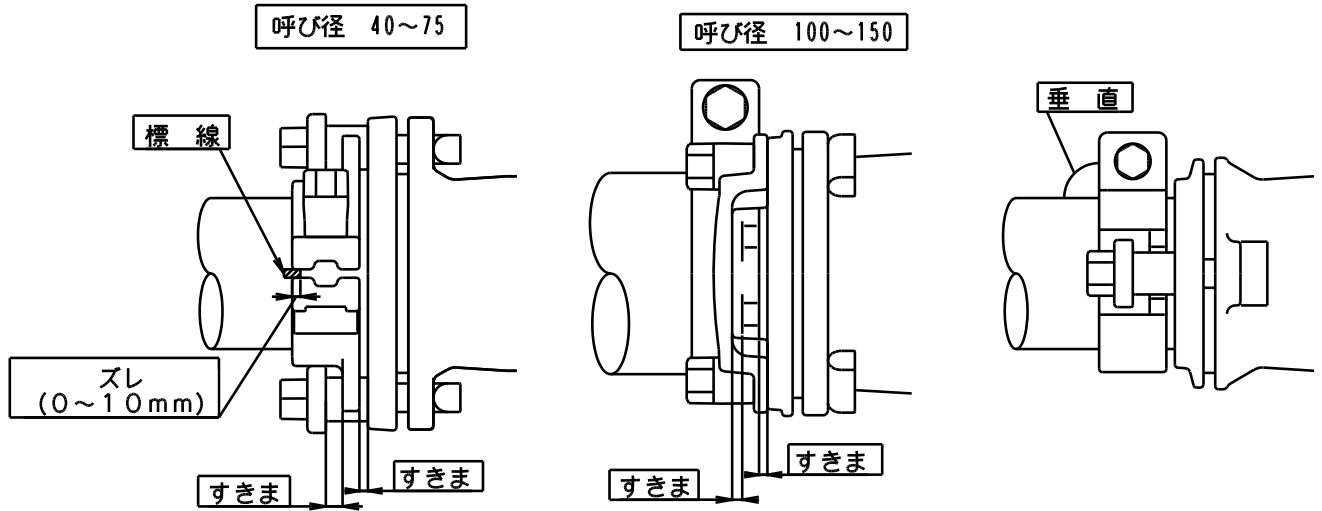


.....  
 特記事項  
 .....

検査日	令和 年 月 日		
開始時刻	AM・PM :	終了時刻	AM・PM :
当初水圧	Mpa	終了時水圧	Mpa

# ダクタイトル鑄鉄管用 メカ形ジョイント継手チェックシート

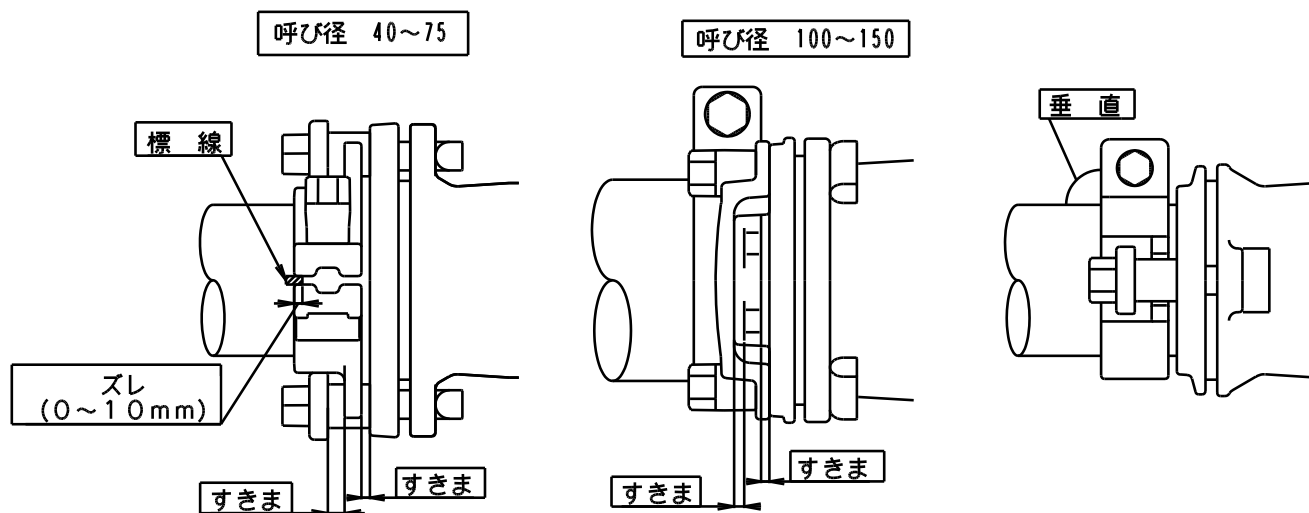
工事番号	第 号	工 事 名	
呼び径	φ mm	施 工 日	年 月 日



No.	チェック項目	名称												
		受口												
		呼び径												
		管種												
1	清掃, 管端の加里除去													
2	管に標線記入(全周) K寸 (mm)													
3	ストップリング締付トルク N・m													
4	押輪 締付	ホルト本数												
		押輪締付トルク N・m												
5	標線とストップリング端面 とのスレ(0~10mm)													
6	ストップリングのツメ部 両側すきま有り													
7	ストップリングと管軸が 垂直である事													
判定 (合格○, 不可×)														
		現場代理人	品質管理担当者				継手施工者							
		印	印				印							

# ダクティル鑄鉄管用 メカ形ジョイント継手チェックシート(記入例)

工事番号	第 号	工事名	
呼び径	φ mm	施工日	年 月 日



チェック項目	名称	S-MD-D75		S-MD-T100×75			S-MD-FS 100		S-MD-K 75×50	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
		受口	75	75	100	100	75	100	75	50
		呼び径	DIP	DIP	DIP	DIP	DIP	DIP	DIP	PD
1	清掃, 管端のカリ除去	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
2	管に標線記入(全周) K寸 (mm)	120	120	130	130	120	130	120	110	
3	ストップリング締付トルク N・m	50	50	70	70	50	70	50	50	
4	押輪締付	ホルト本数	2	2	4	4	2	4	2	2
	押輪締付トルク N・m	50	50	50	50	50	50	50	50	
5	標線とストップリング端面 とのスレ(0~10mm)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
6	ストップリングのツメ部 両側すきま有り	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
7	ストップリングと管軸が 垂直である事	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
判定 (合格○, 不可×)		○	○	○	○	○	○	○	○	
現場代理人		品質管理担当者			継手施工者					
		(印)			(印)			(印)		



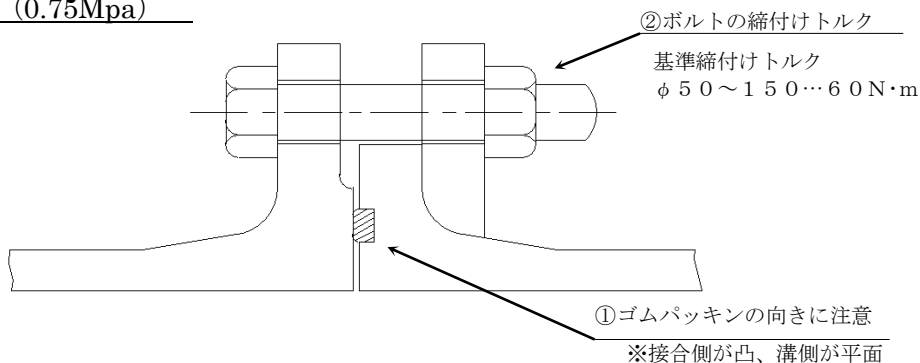
## 配水ポリエチレン管用G形フランジ継手チェックシート

施工日 年 月 日

工事番号	第 号
工事名	工事
呼び径・管種	φ                      mm

現場代理人	品質管理担当者	継手施工者

呼び圧力  $RF \times GF$  (0.75Mpa)



継手箇所数	1	2	3	4	5	6	7	8
管体 No.								
略 図								
清 掃								
接着剤使用の有無								
①ゴムパッキンの向き								
②ボルト締付けトルク								
判 定								

備 考 (配管図、写真等)

判断基準・記載方法

- ①ゴムパッキンの向きが逆になっていないか。
- ②ボルト締付トルク値を記載すること。

## ポリエチレン管用継手 チェックシート(インコアあり)

工 事 番 号	第 号	工 事 名	
管種・呼び径	φ mm	施 工 日	年 月 日

挿入深さの印 L1, L2

インナーコアのはみ出し量 A

①メタルタッチ

挿入深さの印 L1, L2 寸法及び  
インナーコアのはみ出し量 A (mm)

呼び径	L1	L2	A
50	115	90	10
75	120	90	15
100	125	100	20
150	130	110	25
200	140	125	25

測定位置

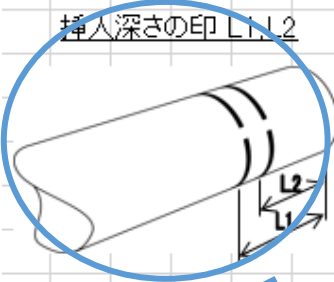
メタルタッチにならない場合の  
参考締め付トルク

φ 50～φ 150	60～80N・m
φ 200	80～100N・m

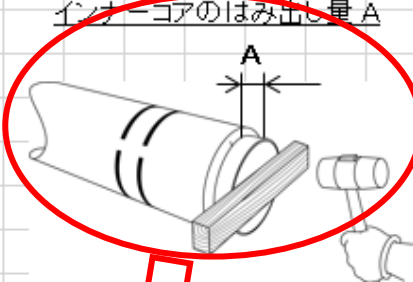
管 No. 及び形状			
略図			
継手 No.			
挿入深さ L1, L2 の記入			
インナーコア	はみ出し量(A)		
滑 剤			
T 頭ボルト・ナット	締め付け		
① 受口面一押輪の間隔	上		
	右		
	下		
	左		
② 挿入深さ L2 が隠れているか	上		
	右		
	下		
	左		
判定			
判定基準	①受口面一押輪の間隔：メタルタッチ(接触していること) ※メタルタッチにならない場合は参考締め付けトルクにて確認のこと。 ②挿入深さの印(標線)が1本しか見えないこと(L2は隠れているか)。		
備考	現場代理人	品質管理担当者	継手施工者
/	印	印	印

# ポリエチレン管用継手 チェックシート(インコアあり)(記入例)


工事番号	第号	工事名	年月日
管種・呼び径	φ mm	施工日	年月日



挿入深さの印 L1, L2



インナーコアのはみ出し量 A

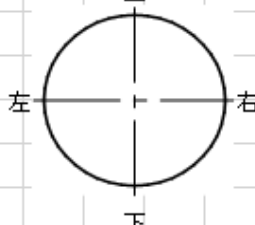


①メタルタッチ

挿入深さの印 L1, L2 寸法及びインナーコアのはみ出し量 A (mm)

呼び径	L1	L2	A
50	115	90	10
75	120	90	15
100	125	100	20
150	130	110	25
200	140	125	25

測定位置



メタルタッチにならない場合の参考締め付トルク

φ 50～φ 150	60～80N・m
φ 200	80～100N・m

管 No. 及び形状	HPPE		PC		PV								
略図	) — (		) — (		) — (								
継手 No.	1	2	3	C	4	V							
挿入深さ L1, L2 の記入	○	○	○	/	○	/							
インナーコア はみ出し量(A)	○	○	○	/	○	/							
滑剤	○	○	○	/	○	/							
T 頭ボルト・ナット 締め付け	○	○	○	/	○	/							
① 受口面 — 押輪の間隔	上	○	○	○	/	○	/						
	右	○	○	○	/	○	/						
	下	○	○	○	/	○	/						
	左	○	○	○	/	○	/						
② 挿入深さ L2 が隠れているか	上	○	○	○	/	○	/						
	右	○	○	○	/	○	/						
	下	○	○	○	/	○	/						
	左	○	○	○	/	○	/						
判定	○	○	○	/	○	/							
判定基準	①受口面—押輪の間隔：メタルタッチ(接触していること) ※メタルタッチにならない場合は参考締め付けトルクにて確認のこと。 ②挿入深さの印(標線)が1本しか見えないこと(L2は隠れているか)。												
備考	現場代理人			品質管理担当者			継手施工者						
	(印)			(印)			(印)						

# 配水ポリエチレン管用 メカ形継手チェックシート(インコアなし)

工事番号	第 号	工事名	
呼び径	φ mm	施工日	年 月 日

K寸 (mm) 管端⇔標線
φ 50 - 95
φ 75 - 105
φ 100 - 135
φ 150 - 160

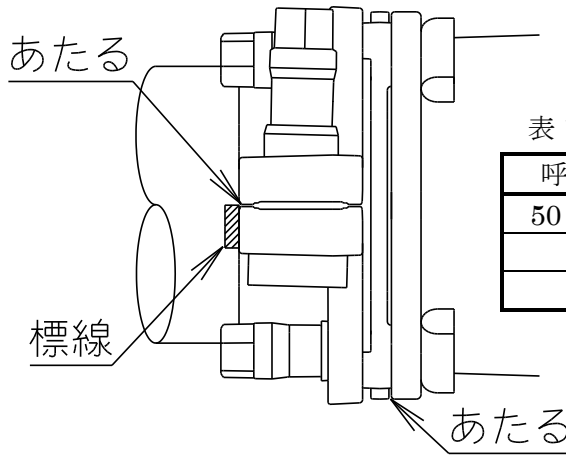


表1 押リング手締め参考スキマ

呼び径	参考スキマ
50 ・ 75	6 ～ 8 mm 程度
100	8 ～ 9 mm 程度
150	10 ～ 12 mm 程度

No.	チェック項目	名称												
		受口												
		呼び径												
		管種												
1	清掃, 管端の加里除去													
2	管に標線記入(全周) K寸 (mm)													
3	押リング手締め (本体との隙間は 表1参照)													
4	開放ナットを外したか													
5	ストップリング締付 (先端があたる)													
6	押輪 締付	ホルト本数												
		押輪締付 (押リングが 本体にあたる)												
7	標線とストップリング端面 とのズレ(0～10mm)													

判定  
(合格○, 不可×)

	現場代理人	品質管理担当者	継手施工者
	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ

# 配水ポリエチレン管用 メカ形継手チェックシート(記入例)

工事番号	第 号	工 事 名	
呼び径	φ mm	施 工 日	年 月 日

K寸 (mm) 管端⇔標線
φ 50-95
φ 75-105
φ 100-135
φ 150-160

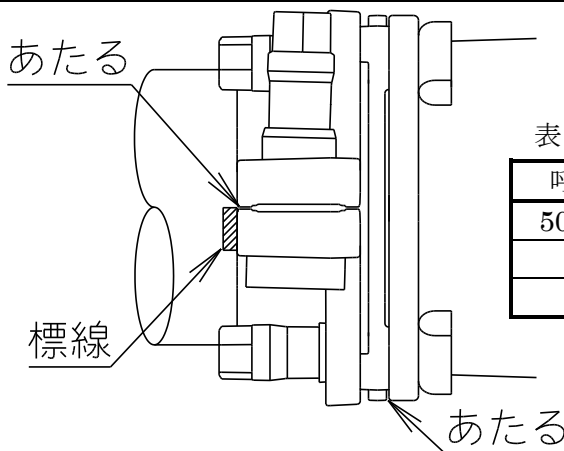


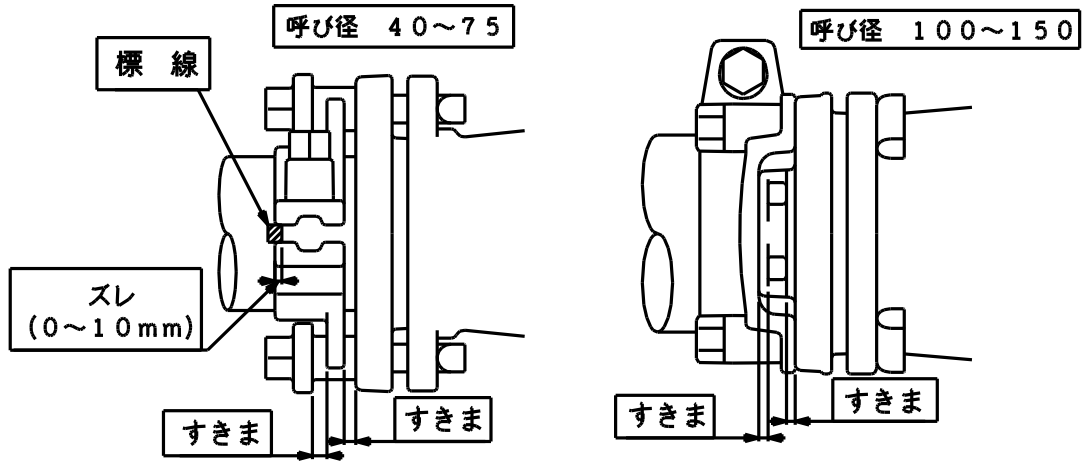
表 1 押リング手締め参考スキマ

呼び径	参考スキマ
50・75	6～8mm程度
100	8～9mm程度
150	10～12mm程度

チェック項目	名称	S-MP-P75		S-MP-TS100×75			S-MPF・S150		S-MPK 75×50	
	受口	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
	呼び径	75	75	100	100	75	150	75	50	
	管種	HPPE	HPPE	HPPE	HPPE	HPPE	HPPE	HPPE	HPPE	
1	清掃, 管端のカリ除去	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
2	管に標線記入(全周) K寸 (mm)	105	105	135	135	105	160	105	95	
3	押リング手締め (本体との隙間は 表 1 参照)	6	7	8	9	7	10	7	6	
4	開放ナットを外したか	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
5	ストップリング締付 (先端があたる)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
6	ホルト本数	2	2	4	4	2	4	2	2	
	押輪締付 (押リングが 本体にあたる)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
7	標線とストップリング端面 とのスレ(0～10mm)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
判定 (合格○, 不可×)		○	○	○	○	○	○	○	○	
現場代理人		品質管理担当者			継手施工者					
Ⓜ		Ⓜ			Ⓜ					

## 塩ビ管用 メカ形継手チェックシート

工事番号	第 号	工 事 名	
呼び径	φ            mm	施 工 日	年   月   日

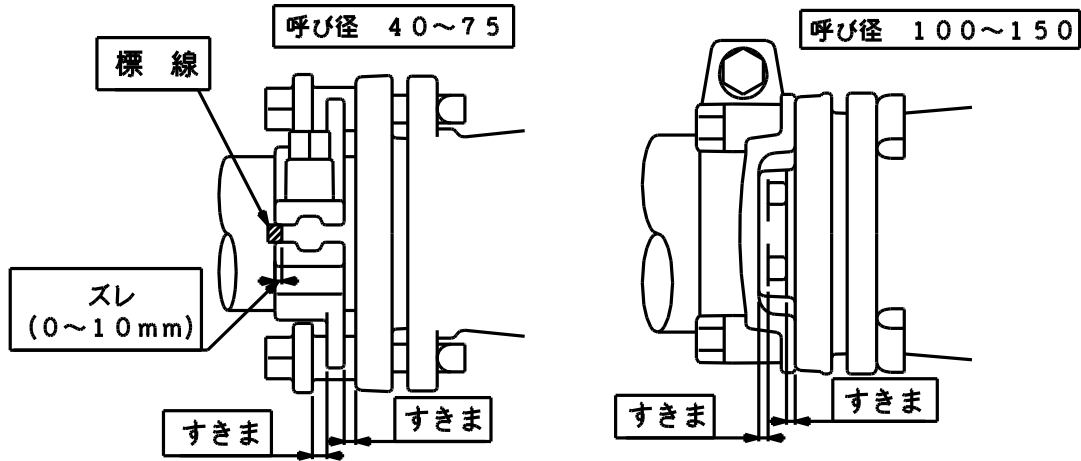


No.	チェック項目	名称																		
		受口																		
		呼び径																		
		管種																		
1	清掃, 管端の加里除去																			
2	管に標線記入(全周) K寸 (mm)																			
3	ストップリング締付トルク N・m (塩ビ管の場合は、先端 が当たるまで締付ける)																			
4	押輪 締付	ホルト本数																		
		押輪締付トルク 40~60 N・m																		
5	標線とストップリング端面 とのスレ(0~10mm)																			
6	ストップリングのツメ部 両側すきま有り																			
判定 (合格○, 不可×)																				
		現場代理人	品質管理担当者					継手施工者												
		Ⓔ	Ⓔ					Ⓔ												

# 塩ビ管用 メカ形継手チェックシート(記入例)

-21-

工事番号	第 号	工 事 名	
呼 び 径	φ                      mm	施 工 日	年   月   日



チェック項目	名称	S-MVD75		S-MVT-S100×75			S-MVF-Ⅱ 150		S-MVK 75×50	
	受口	①	②	③	④	⑤	⑥		⑦	⑧
	呼び径	75	75	100	100	75	150		75	50
	管種	VP	VP	VP	VP	VP	SGP		SGP	SGP
1	清掃, 管端のカエリ除去	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
2	管に標線記入(全周) K 寸 (mm)	125	125	165	165	145	185		145	135
3	ストップリング締付トルク N・m (塩ビ管の場合は、先端 が当たるまで締付ける)	先端の 当たり ✓	先端の 当たり ✓	先端の 当たり ✓	先端の 当たり ✓	先端の 当たり ✓	80		50	50
4	押輪 締付	ホルト本数		押輪締付トルク 40~60 N・m						
	2	2	4	4	2	4	2	2		
5	標線とストップリング端面 とのスレ(0~10mm)	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
6	ストップリングのツメ部 両側すきま有り	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
判定 (合格○, 不可×)		○	○	○	○	○	○		○	○
現場代理人		品質管理担当者			継手施工者					
		Ⓜ			Ⓜ			Ⓜ		

# 塩ビ管用離脱防止継手チェックシート

施工日 年 月 日

工事番号	第 号
工事名	工事
呼び径・管種	φ mm

現場代理人	品質管理担当者	継手施工者

## 呼び圧力

①ボルトの締付けトルク

例) スポットニストパ-の場合

標準締付けトルク  
 $\phi 50 \cdot 75 \rightarrow 50 \text{ N}\cdot\text{m}$   
 $\phi 100 \cdot 150 \rightarrow 60 \text{ N}\cdot\text{m}$   
 ※メーカー毎の標準締付けトルクを確認すること。

②離脱防止の伸縮可とう量が確保されているか。計測（基準  $10 \text{ mm} \pm 2 \text{ mm}$ ）

継手箇所数	1	2	3	4	5	6	7	8
管体 No.								
略 図								
清 掃								
①締付けトルク A(N・m)								
締付けトルク B(N・m)								
②離脱防止の間隔(mm)								
判 定								

備 考 （配管図・写真等）

### 判断基準・記載方法

- ①ボルトの締付トルク値（A、B）を記載すること。
- ②計測値を記載すること。基準値  $10 \text{ mm}$ （許容値  $\pm 2 \text{ mm}$ ）



年 月 日

## 支給材料受領書 (貸与品借用書)

年 月 日付で工事請負契約を締結した 第 号 配水管布設替工事について、南魚沼市建設工事請負基準約款第16条の規定に基づき下記内容により物品を正に受領(貸与)しました。

品 名	規 格 (性 能)	数 量	引 渡 場 所	貸与期間 (貸与時のみ)
				受領日から 年 月 日 まで

(引 渡 人)

南魚沼市水道課 宛て

(受取人・受注者)

住 所 南魚沼市

氏 名

Ⓜ